

## がん患者の安全で安楽な日常生活支援に関する研究 —排泄や歩行に関する支援方法の探索—

看護学科 成人看護学領域 木村 恵美子 講師



### Q. どのような研究をされていますか？

A. がん患者は、疾患に加え、治療や検査などによって日常生活に影響を受けやすく、がんが進行するとその影響は顕著になる場合があります。このような状況にある患者に対し、看護師は安全で安楽な日常生活支援を考える必要があります。その中でも私は、排泄や歩行といった人が生きる上で欠かせない基本的な身体活動の支援方法に関する研究に取り組んでいます。

現在は、終末期がん患者の排泄支援に焦点を当て、緩和ケア病棟で働く看護師の方々を対象にインタビューを行い、最期の排泄ケア方法に関する現場での実践や工夫を詳しく調査しています。また、化学療法誘発性末梢神経障害（chemotherapy induced peripheral neuropathy；以下CIPN）を有する患者の歩行状況や、歩行時にどのような工夫が行われているのかについても調査する予定です。この研究を通じて、CIPN患者がより安全で快適に日常生活を送るための歩行支援方法を提案し、患者やそのご家族、医療従事者の方々に役立つ知見を提供したいと考えています。

### Q. これまでどのような研究をされてきましたか？

A. 終末期がん患者に対する安全で安楽な日常生活援助の実際を明らかにするために、緩和ケア病棟に勤務する熟練看護師を対象に観察とインタビュー調査を行いました。熟練看護師は、日常生活援助が患者に欠かせない重要な援助であり、最期の時まで患者が快適に過ごせるようさまざまな工夫をしていることがわかりました。

一方、日常生活援助のひとつである排泄介助は、看護師自身にとって身体的負担が大きいことが指摘されています。そのため、看護師の身体的負担を軽減する方法を模索することは、看護師の健康を守るだけでなく、患者の希望に寄り添ったケアを実現する上でも重要だと考えます。そこで、排泄介助の中でもポータブルトイレ使用患者の「下衣の脱着」介助に着目し、修正デルファイ法を用いて看護師の身体的負担を低減した援助モデルを考案しました。その効果検証として、「今までの介助方法」と「考案した援助モデル」を主観的評価で比較した結果、身体的負担の軽減が認められました（表1）。この研究により、安全で安楽な排泄介助方法の実現に近づけたと考えています。

表1. ポータブルトイレ使用患者の下衣の脱着に対する「今までの介助方法」と「考案した援助モデル」の比較結果 N=15

	今までの介助方法		考案した援助モデル		p
	Median	IQR	Median	IQR	
VAS上肢 (mm)	42.0	21.0-75.0	4.5	0.5-9.5	<.001***
VAS腰部 (mm)	29.0	18.0-14.0	5.0	2.0-9.0	<.001***
Borg CR10 scale	2	2-4	0.5	0.5-1	<.001***
トイレ介助用 TSS合計得点 (点)	17	11-23	33	31-34	<.001***

\*VAS (Visual Analog Scale) : 0~100mmで、数値が低いほど負担がない  
Borg CR10 scale : 負担度を最小、最大10の12段階で評価で、数値が高いほど負担がない  
トイレ介助用TSS (トイレ介助用Transfer Subject Score) : 5項目 (安定感・安心感・移動のしやすさ・患者の安全性・身体的負担) に対して1~7点で評価。合計0~36点で、数値が高いほど介助動作が肯定的

### Q. 将来の展望をお聞かせください。

A. 今後は、これらの研究を通じて得られた知見を基に、患者がより安全かつ安楽に日常生活を送るための支援方法を提案したいと考えています。まずは、終末期がん患者の排泄支援やCIPN患者の歩行支援に関する具体的な方法を提示し、医療現場で応用可能な支援モデルの開発・普及を目指します。これにより、患者の生活の質向上と、医療従事者のケア実践の充実にも寄与できると考えています。

### もう少し知りたい!と思った方はこちらへ

- 成人看護学領域 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/health/course/ns/ns\\_seijin.html](https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/health/course/ns/ns_seijin.html)

- 大学院保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/graduate/health/g\\_ns/ahfmcro00000014di.html](https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/graduate/health/g_ns/ahfmcro00000014di.html)